

第47回自然災害科学総合シンポジウム

主 催：京都大学防災研究所 自然災害研究協議会

日 程：平成 22 年 12 月 20 日（月）

場 所：東京工業大学蔵前会館 ロイヤルブルーホール

東京都目黒区大岡山 2-12-1 （TEL&FAX 03-5734-3737）

<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

参加費：無料

プログラム

12 月 20 日（月）

9:30～ 受付

10:00～10:10

開会挨拶

自然災害研究協議会議長 矢田部龍一（愛媛大学大学院理工学研究科教授）

10:10～10:50

【平成 21 年度科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究】

司会 藤田正治（京都大学防災研究所教授）

「平成 21 年 7 月の豪雨による防府地域の土砂災害と防災対策に関する研究」

研究代表者 羽田野袈裟義（山口大学工学部社会建設工学科教授）

10:50～11:20

【平成 22 年度重点推進型共同研究：突発災害時における初動調査体制拡充および継続的調査研究支援システムの試行】

「2008 年岩手・宮城内陸地震において地盤の非線形応答が低層 RC 造建物の被害に与えた影響」 三辻和弥（山形大学地域教育文化学部准教授）

「2009 年 7 月下旬の中国・九州北部豪雨の気象状況

－ 2009 年 7 月 19 日～26 日の豪雨 －」

守田 治（福岡大学環境未来オフィス教授）

（休憩 10 分）

11:30～12:15

【企画：自然災害総合研究班発足から 50 年】

司会 間瀬 肇（京都大学防災研究所教授）

「自然災害総合研究班から自然災害研究協議会へ：50 年の歩みを振り返って」

寶 馨（京都大学防災研究所教授）

（昼休み 1 時間）

【平成 22 年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究（22N-02）】

「多分野の研究者との連携およびステークホルダーとの協働による新たな
総合的災害観測・調査・防災研究推進の枠組みに関する検討」

司会 西上欽也（京都大学防災研究所教授）

13:15～13:20

重点推進型共同研究の趣旨説明 研究代表者 岡田憲夫（京都大学防災研究所教授）

13:20～14:15

1) 環境・社会構造変化に伴う新たな研究課題解決を目的とした多分野の研究者
の連携による新たな共同研究・災害観測・調査体制の構築

「気候変動に伴う極端気象に強い都市創りー研究プロジェクトの概要についてー」

三隅良平（独立行政法人防災科学技術研究所 主任研究員）

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクトで見えてきたもの」

酒井慎一（東京大学地震研究所准教授）

14:15～15:10

2) 災害軽減に関わる様々なステークホルダーとの協働による研究フレームの構
築（フィールド科学の構築）

「市民の目で見た防災研究」

所澤新一郎（共同通信社会部）

「減災に取り組む市民活動」

池上三喜子（財団法人市民防災研究所）

（休憩 10 分）

15:20～16:15

3) ユビキタス社会における災害情報の蓄積・配信手法および研究者ネットワー
キングのあり方

「『今』を把握するウェザーリポート、その現状と可能性について」

内藤邦裕（ウェザーニュース）

「世界への防災授業の発信ーWIDE University, School of Internet の試み」

大川恵子（慶応大学）

16:15～16:30

総合討論・まとめ

牧 紀男（京都大学防災研究所准教授）

16:30～16:35

閉会挨拶

盛川 仁（東京工業大学大学院総合理工学研究科准教授）

16:40～17:40

平成 22 年度第 2 回自然災害研究協議会